

令和 7（2025）年度科学研究費助成事業（国際先導研究）募集のご案内

標記の件について、日本学術振興会より通知がありましたのでご案内いたします。応募を希望される方は、必ず、公募要領をご確認のうえ、2025年2月7日（金）までに、リサーチ・イニシアティブセンターまでご連絡ください。

I. 研究種目の概要と応募資格

趣旨	<p>優れた国際共同研究に対して基金による柔軟性の高い大規模・長期間の支援を実施することによる、独創的、先駆的な研究の格段の発展を目的とする。我が国の優秀な研究者が率いる研究グループが、国際的なネットワークの中で中核的な役割を担うことにより、国際的に高い学術的価値のある研究成果の創出のみならず、当該学術分野全体の更なる国際化、研究水準の更なる高度化を目指す。</p> <p>さらに、ポストドクターや大学院生が参画することにより、将来、国際的な研究コミュニティの中核を担う研究者の育成にも資するとともに、国際共同研究の基盤の中長期的な維持・発展につながることを期待する。</p> <p>国際共同研究の中心的な役割を担うとともに研究者の育成を支援する研究種目であることから、研究構想の学術研究としての意義のみならず、国際共同研究としての先進性・将来性・優位性等を評価し、課題を厳選の上支援を行う。</p>
対象	<p>以下の①及び②の両方を満たす研究計画。</p> <p>① 「高い研究実績と国際ネットワークを有する日本側研究者」が、海外の研究機関に所属する国際的に極めて優れた研究業績を有する研究者（海外の共同研究者）と共同して行う国際共同研究であって、研究費を重点的に交付することにより、格段に優れた研究成果が期待される研究計画</p> <p>※ 研究代表者は、責任著者となっている国際共著論文（2019年以降に発表したものに限り）が、被引用数 Top10%国際共著論文に該当すること等、国際的に卓越した研究成果を挙げ、発信していることを要件とする。なお、分野の特性によっては、「国際的に卓越した研究成果」として以下の点などを示すことでも構わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型国際共同研究プロジェクトの代表者（活動全体に責任を持って中心的役割を果たすスポークスパーソンなど）の経験 ・海外で刊行され、国際的に評価されている優れた学術書（2014年以降に発表されたものに限り）の著者 <p>② 複数名の研究者（研究代表者、研究分担者）及び、当該研究者数の3倍程度のポストドクター、大学院生（博士課程）が研究協力者として参画する研究グループにより実施される研究計画</p> <p>※本研究種目においては、より質の高い研究成果の創出や、将来、我が国を担い国際的な研究コミュニティの中核を担える研究者の育成にも資する観点から、人材育成のための経費について応募総額の7割を標準とする。加えて、研究計画の中に以下の取組を必ず盛り込むことを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストドクター、大学院生（博士課程）の海外の共同研究者のグループへの派遣・交流（2年～3年を中心とする）に係る計画 ・ポストドクター、大学院生（博士課程）の自立に資する取組（例：ポストドクター、大学院生（博士課程）が独立した研究者からの助言を受けつつも一定の裁量と責任の下で行う研究に必要な経費の措置） <p>※ここでいう「ポストドクター」とは、常勤の研究職に就いていない若手研究者、例えば博士の学位取得後8年未満（育児等で研究を実施できなかった期間は除外）の方や39歳以下で博士号未取得の方を想定しています。</p>
応募総額	5億円以下
研究期間	7年（※中間評価の結果を踏まえ、最長10年間までの研究期間の延長が可能）
採択予定件数	おおむね5件程度（極めて厳選されたもの）
Letter of Intent について	<p>応募に当たっては、海外の共同研究者（研究計画に対して責任を持てる者）に対して研究計画の内容や役割分担等を具体的に提示するとともに、役割に応じてそれぞれ独自に必要な研究資金の確保等を行うことについて同意を明確に得た上で、海外の共同研究者と研究代表者で確認された、所定の様式による Letter of Intent（同意書）の提出を求めます。なお、同意書は研究計画調書の一部として審査に付されます。</p>

留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・応募を希望される方は、必ず事前に公募要領をご確認ください。https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/35_kokusai/05_sendou/koubo.html ・参画する全ての研究協力者も含め、国際共著による学術論文や国際会議での発表等により研究成果を創出し、国際発信を行ってください。 ・本研究種目においては、優れた研究チームによる国際共同研究への支援を通じ、優秀な若手研究者の育成を目指しています。そのため、研究費とは別に、以下の経費を措置する予定です。詳細は採択された研究代表者に別途案内されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・本研究種目で支援する研究者グループに対し、若手研究者が国際共同研究に参加しやすい研究環境を確保するための経費（1研究課題につき 3,000 万円程度を上限とし、採択状況等を踏まえて配分予定。） ・本研究種目の研究期間内にテニユア職の研究者（テニユアトラックを含む）として研究機関に採用された研究分担者（ポストドクター）、研究協力者（ポストドクター、大学院生）に対するスタートアップ経費（1研究者につき 300 万円、1研究課題当たり 2,100 万円を上限とし、採用状況等を踏まえて配分予定。） ・採択された研究課題については、研究期間の5年度目に中間評価を行うとともに、研究期間終了年度翌年度に事後評価を行います。なお、中間評価の結果に基づき、必要に応じて研究期間の延長や、それ以降の研究経費の増額、減額、研究の中止等を行います。
応募資格	<p>下記の「本学の科研費有資格職種」を参照し、応募資格の有無をご確認下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">本学の科研費有資格職種</div> <p>教授、准教授、講師、特別専任教授、チャブレン、カウンセラー、特任教授、特任准教授、助教、教育講師、PD、教育研究コーディネーター、名誉教授、特定課題研究員、日本学術振興会・特別研究員（PD、RPD、DC（本種目では特別研究員は研究分担者としてのみ）</p> <p>※ <u>下記①～⑤に該当する方が申請する場合は、個別に応募要件を確認させていただきます。</u>また、場合によっては、応募を受け付けられない場合もありますので、その旨お含みおき下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 任期付職種や定年退職予定者の方で、応募する研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究代表者・研究分担者としての責任を果たせなくなることが見込まれる方 ② 科研費被雇用者の方 ③ PD、教育研究コーディネーター、助教 R のいずれかの職種の方 ④ 特定課題研究員の方 ⑤ 日本学術振興会・特別研究員（PD,RPD,DC）の方

II. 応募方法

リサーチ・イニシアティブセンターから学内申請手続きに関して、説明を受けたのち、**2025年2月19日（水）9時**までに、学内申請手続きを完了してください。

III. 応募から交付までのスケジュール（予定）

日 程	内 容
2025年1月9日（木）	公募発表
1月24日（金）	学内募集のご案内
2月7日（金）	申請希望のリサーチ・イニシアティブセンターへの連絡期限
2月19日（水）9時	学内申請締切【厳守】
3月14日（水）16時30分	日本学術振興会への申請書提出期限

3月～11月 審査 11月中旬 審査結果通知・交付内定

本件に関するお問合せ先

リサーチ・イニシアティブセンター（科研費申請担当）

【池袋キャンパス（12号館2階）】 内線：3833 E-Mail：kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp

以上